

Ⅰ 日常の学習状況・課題について

- (1) 「授業中集中して取り組んでいますか。」という質問に、「とてもそう思う」と答えた生徒が 35.8%、「そう思う」と答えた生徒が 43.7%であった。また、「授業中、グループでの話し合いや発表などで自分の言葉で自分の気持ちを伝えることができますか。」という質問に、「できる」と答えた生徒が 66%、「場合によってはできる」と答えた生徒が 29.3%であった。授業への取り組みはおおむね良好である。
- (2) 「授業の中でわからないことやもっと深めたいことがあった時、自分で調べたり自分で積極的に取り組んだりして、主体的に学習に取り組んでいますか」という質問に、「取り組んでいない」と答えた生徒が 17.3%であった。
- (3) 課題を期限内に提出することができない生徒がいる。
- (4) 継続的な学習を課題としている生徒がいる。

2 改善の計画

(1) 学習面

① 基礎的な学習内容の定着

- ・毎回宿題を課し、授業内容の定着を図る。
- ・ワークを使って課題を与え、基礎から応用までの様々な問題に繰り返し取り組む。

② 数学的な考え方を広げ、表現する力を高める

- ・ワークシートを用いて、考え方を図や言葉で表す課題を実施、互いに発表する活動に取り組む。
- ・単元ごとに学習のまとめを行い、自ら学習内容を振り返る。

③ 必要に応じて、定着の確認のための小テストを実施する。

(2) 指導面

- ① 授業中わからない場面で活用できるような、ヒントカードや補助発問を準備しておく。また、学習者用端末を活用し、手が止まっている生徒への支援を行う。

- ② 問題を正しく理解できるよう、板書内容や発問等の工夫をする。

3 非認知能力を高めるための手だて

- (1) 生徒の関心・意欲を高めるため、教材・教具・指導方法の工夫をする。
- (2) 効果的な場面で、グループ形式で学び合う学習を取り入れていく。

4 プランの評価方法

- (1) 授業アンケートを行い、変容を見る。
- (2) 年度末に、観点別学習状況の評価を前年度と比較する。